

# イグルー(バケツかまくら)作り体験

イグルーとは、イヌイットの人たちが切り出した雪のブロックで作る簡易住居です。ドーム型の住居は、安定していて風に強く、中は保温されます。ここでは、バケツを使って雪のブロックをつくり、組み立てます。切り出したブロックで作るときは、意識的に内側に角度をつけて削ることが必要です。バケツを型に使うことで同じブロックを大量に作るができるため、製作時間を短縮できます。



イグルー完成後、中であそびを灯し、三瓶の幻想的な夜を過ごしましょう。

※入所後の打合せは行いませんが、確認表の事前提出をお願いします。

## 活動のねらい

- 創作をする中、グループ間のコミュニケーションが生まれます。
- 年齢、性別関係なく、誰もが楽しく作成できるプログラムです。
- 自分で工夫してつくることで創造力を養います。

一斉実施可能人数	50人程度	活動季節・条件	積雪期 ※積雪量が多いとき。
所要時間	2～3時間程度	実施場所	交流の家敷地内(つどいの広場を除く。)
主な対象	幼児～		
指導について	職員による事前指導はないので、団体による自主運営で実施してください。		

## 活動の概略

- ①準備物等を確認します。
- ②雪を踏みしめたり、スコップを使ったりして、雪を平らにならし、イグルーの土台を作ります。  
※土台の内側を数十センチ掘り込むと、内部が広がります。
- ③綺麗な雪をバケツにギュッと詰め、逆さにして出し、横に倒して並べ、丁寧に積み重ねていきます。  
※上部に雪をはめこむのが難しいときは、傘やシートなどの軽いものをかぶせてもよい。
- ④入口・階段などを作り、内部を整地して完成です。
- ⑤小燭台にろうそくを立て、暗くなったとき、ろうそくに火をつけましょう。
- ⑥活動後、片付け・用具返却をお願いします。

## 準備物

### 交流の家が貸し出しできる用具・材料

バケツ、スコップ、ミニショベル、ライター、小燭台(ろうそくを立てるもの)、スパッツ、歩くスキー用靴、スノーシュー、和かんじき、救急バック(原則1団体に1個)、無線機

### 利用者や団体が準備する用具・材料

防寒着、靴(ゴム長靴など水が浸透しにくいもの)、防寒帽子、水筒  
防寒手袋(軍手等綿製品は不可。厚手の毛糸が好ましいが、ないときは薄手のものを二つ重ねて着用。)、ろうそく(持ち込んだときは、お持ち帰りください)、ライター

## 交流の家(食堂)で購入できる物

小ろうそく1箱66本入り

※購入物品の金額については、交流の家HPや「利用ガイドブック」をご確認ください。

## 当日の動き

- ①用具の準備 交流の家職員と一緒に用具の保管場所の確認をします。
- ②事前指導 団体の指導者が明るいうちにイグルー(バケツかまくら)の基本的な作り方を説明します。
- ③活動 活動は自主活動です。安全指導を徹底し、火の後始末をしっかりとお願いします。
- ④振り返り 完成したイグルーの中で、活動を振り返りましょう。
- ⑤用具の片付け 用具を整理し、所定の場所に返します。返却後、事務室まで報告をお願いします。

## 安全対策・環境への留意点

- 高く積み上げているときに内部に入らないでください。また、上部に雪をはめこむときには特に注意しましょう。
- 火を使う活動の際は、火が全て消えたことを確認した後、事務室まで連絡をお願いいたします。
- 使い終わったろうそくは、お持ち帰りください。
- 積雪期・野外での活動になります。防寒対策をしっかりしてください。